

広 報



ITO City Public Relations

2017
平成29年

10

No.1066

健康長寿
100歳

吉野 しづ さん
(湯川)

特集

伊東市医師会の責務

地域医療に貢献するための4つの柱とは



伊東市役所

検索 

ほぼ毎日更新中!



特集 伊東市医師会の責務

こんにちは。伊東市医師会です。伊東市医師会は、61人の医師、伊東市民病院を含めた市内41の医療機関で構成している団体です。

普段の診療はもちろんのこと、市と連携して様々な事業を行うことで、地域医療の充実を図り、皆さんの健康管理に日夜取り組んでいます。特に、

- 1 健康管理事業
 - 2 学校・母子保健事業
 - 3 救急・災害医療事業
 - 4 在宅医療・介護連携
- 4つの柱**を掲げて地域医療に貢献しています。



伊東市医師会館

所 大原1-6-20
☎ 37-8925

伊東市医師会 4つの柱

3 救急
災害医療

1 健康管理

4 在宅医療
介護連携

2 学校
母子保健

第37代会長
山本 佳洋
(山本医院)



医師からのススメ

健康管理の手段として、各種健診は大切です。特定健診や人間ドックは普段病院にかかっている人も受けることができます。健診結果で気になることがあれば、市役所や「かかりつけ医」に気軽にご相談ください。

また、検査結果に問題がなかった場合でも、その後体調に不安を感じたら医療機関を受診しましょう。

副会長
木村 博光
(木村整形外科クリニック)



1 健康管理事業

6月から9月まで実施している特定健診・特定保健事業をはじめ、一日人間ドック・がん検診・39歳以下健診などの健（検）診事業や65歳以上インフルエンザ予防接種といった予防事業を実施しています。

昨年度、特定健診では国保・後期高齢者合わせ1万694人を、一日人間ドックでは386人の健診を実施しました。

2 学校・母子保健事業

子どもたちの健やかな発育のため、保育園、幼稚園、小中学校、高校の学校医として児童生徒の定期健診を行っています。

また、乳幼児健診（1歳6か月児・3歳児健診）へ医師派遣を実施し、各医療機関では子どもの予防接種を行うことで、子育て支援に力を注いでいます。

かかりつけ医を持つことをお勧めします。

かかりつけ医は自分のことはもちろん、家族のことも気軽に相談できる身近な医療機関です。専門的・高度な治療が必要となったときは、大きな病院を紹介します。

ご自身やご家族の安全・安心のためにも、ぜひかかりつけ医を持ちましょう。

我々、伊東市医師会は
全力で伊東市民の
皆さんの健康を
お守りします！



伊東市医師会役員の方々



夜間救急医療センター

時 毎夜間（19時～23時）
所 大原1-7-12 ☎ 37-2510

日曜日当番医や夜間救急医療センターの運営を市から委託され、市の救急医療を支えています。昨年度は日曜日当番医では内科2911人、外科1753人、小児科473人の診療を行いました。また、夜間救急医療センターでは年間2954人の救急患者の診察にあたりました。
なお、災害時の医療を迅速かつ的確に行うため、医療救護体制を整え、各救護所に医師を配置することとなっています。

3 救急・災害医療事業



8・9ページに伊東市医師会会員が実施する健診等事業の一覧を掲載します。地区ごとに医療機関を掲載していますので、ぜひご活用ください。

医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けられるよう、「地域包括ケアシステムの構築」を目指しています。
そのため、市民の皆さんへの啓発に加え、地域包括医療推進会議を開催し、医療・介護関係者の相互理解や情報の共有を図る機会を設けるなど、医療と介護の切れ目のない体制づくりを進めています。

4 在宅医療・介護連携